



ご当地 **お坊さん** 茨城

茨 歯 会 報

No.561

茨城県歯科医師会
Ibaraki Dental Association

January
2016
平成28年

1



Contents

年頭のごあいさつ	1
森 永 和 男	
年頭のご挨拶	3
小 船 秀 文	
特集「広報座談会」	5
理事会報告	11
会務日誌	13
学術委員会だより	15
地域保健委員会だより	21
センターだより	25
専門学校だより	27
地区歯科医師会だより	30
佐 藤 尚 子	
柴 沼 博 之	
森 寛	
寄稿	37
北 見 修 一	
リレー通信	38
菊 地 義 宏	
レディースコーナー	40
長谷川 正 美	
申年登場	42
追悼	62
おめでとうございます	64
国保組合 NEWS	65
赤えんぴつ	66

表紙写真について

筑波山神社随神門

今年も多くの初詣参拝者でにぎわいました。
(社)茨城・県西歯科医師会 古橋 仁



年頭のごあいさつ

茨城県歯科医師会

会長 森 永 和 男

明けましておめでとうございます。会員の先生方におかれましては、すばらしい新春をお迎えの事と心よりお慶び申し上げます。

昨年は、東日本大震災のあの未曾有の悲惨な記憶が消えないうちに、またしても関東・東北豪雨災害が起こり、鬼怒川の決壊により常総市が大きな災害に見舞われました。特に、水海道地区における大浸水の惨状は目を覆うばかりでした。我々会員の中にも1メートル以上の床上浸水に見舞われ、今日でも診療の再開ができない先生もおられ、一日も早い再開を心より願っております。茨城県歯科医師会としましても、できるだけ援助、方策をさせて頂きたいと考えております。

さて、昨年の会長予備選挙におきまして、会員の皆様のご支援を頂き、3期目も引き続き茨城県歯科医師会の舵取りを任せて頂くこととなり、深く感謝申し上げます。今期は、私の掲げたビジョンを更に進め、完成度を高めていきたいと考えております。今後とも、一層のご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

昨年は、世界的に見ても気候の変動が激しく、各地において災害が発生し、しかもその規模が年々拡大しており、大変懸念するところです。フランスにてCOP21会議が開催されましたが、喫緊の課題であるにも拘らず、成果はあまり上がっておらず各国の利害関係で終始している始末です。

また、いわゆるイスラム国（IS）対策においても、EU、アメリカ、ロシア、中国の思惑が見え隠れし不安な情勢です。あるジャーナリストが講演

の中で、今や共存共栄の時代は終わり、暴力と縄張りの時代に入ったと言っていました。理解できるような気がしました。我々も医療だけの考えではなく、世界の動向、情勢ひいては自分の置かれている位置を見極めなければならないと感じました。

さて、歯科医師会に目を向けてみますと、昨年は先生方も御存じの通り、日本歯科医師連盟の迂回献金疑惑事件で醜い争いがありました。私も嫌気がさした事件ですが、この問題を契機に、我々も日本歯科医師会、日本歯科医師連盟の在り方について、単に程度の低い醜い争いと他人事のように片づけるのではなく、前向きに行動を起こすべき時期と感じます。

とかく、我々歯科医師は「井の中の蛙」となりがちですが、そこから脱却し、今置かれている我々の位置を、一人一人がしっかりと見定めることが大切と考えます。そういう意味で、茨城県歯科医師会としても、他職種の考え方、動向、特に四師会間の相互理解を深め、医療連携を図り、現在のニーズにあった医療体制の確立を目指し、医療界としての確固たる基盤づくりを確立して参りたいと考えております。県民の皆様に理解されての歯科医師会であることを改めて肝に銘じて参ります。

最後に、今年達成したい3つの事を挙げて見たいと思います。第一は、本県で遅れている身障者対策の一環として、口腔センター土浦の充実です。口腔センター水戸においては、全身麻酔の導

入等いろいろな面で会員の先生方のご協力により改善されて参りましたが、残念ながら土浦においては遅れをとっている状態であります。結論的には今の場所では改善できないことが分かりましたので、移転計画も含めてより良い環境の口腔センター土浦を目指していきたいと考えています。

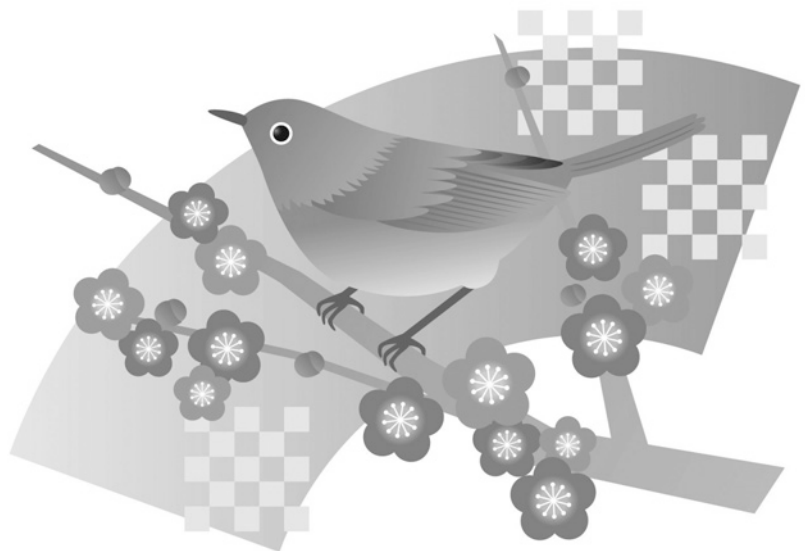
第二は、医療環境の整備、充実です。高齢者対策として地域包括ケアシステム、病院機構改革等の問題を総合的に理解していく為に、さらなる四師会の連携を密にして社会的貢献を果たしていきたいと考えています。

第三は、今一番懸念している茨城県歯科医師会

の弱体化を阻止するため、未入会対策を推し進めていきたいと考えております。

以上の3点を重要課題としてこの一年間取り組み、常に挑戦し、変革を求めつつも自制心を持った行動「チャレンジ、チェンジそしてコントロール」この頭文字をとって、3Cをモットーに県民の皆様の健康に寄与して参りたいと考えております。

今年も是非会員の先生方のご支援、ご協力をお願い申し上げまして年頭のあいさつとさせていただきます。





年頭のご挨拶

茨城県歯科医師国民健康保険組合

理事長 小 船 秀 文

新年おめでとうございます。

旧年中は国保組合の運営、事業に対しまして、ご理解ご協力を賜り厚く感謝申し上げます。

2015年は「戦後70年」「日本の国産ロケットが発射実験に成功して60年」「日韓国交正常化50年」「阪神淡路大震災・地下鉄サリン事件から20年」と、多くの「節目」を迎えた年で、国内外さまざまなニュースがありましたが、みなさまはどのような一年でしたでしょうか？

毎年、「茨歯会報」の新年号にご挨拶と組合の現況を報告させていただいております。

「今年こそいい年に」と、思っているのですが、なかなか良いご報告が出来ておりません。

昨年は年明け早々、国保組合にとりましては今後の運営を大きく左右すると申ししましても過言でない、財務・厚生労働大臣によります国保組合の補助見直しに関する「大臣折衝の情報」が飛び込んでまいりました。

その後第189回通常国会において、昭和36年の国民皆保険達成以来の歴史的な改革となると言われる「持続可能な医療保険制度を構築するための国保法等の一部を改正する法律」が可決・成立し、去る5月29日に公布されました。

今回の改正には国保をはじめとするさまざまな事項が盛り込まれておりますが、国保組合の最大の課題は、「被保険者の所得水準の高い国保組合への補助見直し」でございます。

今回の見直しは、「医療保険の保険料に係る負担の公平確保」という観点から、従前の「組合へ

一律32%の補助」を、「財政力（所得水準）を加味した補助」にと、大きく転換させたものです。

その後、聞こえてきた情報によりますと、本組合の補助は、従来の「32%から16%へ削減（※情報で確定ではない）」という大変厳しいものでした。

本組合の平成26年度の決算総額は約16億5千万円。そのうち国からの補助は約4億2千4百万円です。収入の約1/4を占めますことから、情報のおりに見直し（平成28年度から5年かけて段階的に）が実施されますと、平成32年度の補助金は、現在の約半分の2億円に削減ということになります。

このような状況におきまして、本組合では平成14年度以来据え置いてまいりました（医療給付費分）保険料を、14年ぶりに改正する準備をすすめ、毎月の理事会において検討協議を重ね、昨年7月開催の組合会に協議題として「保険料の見直しについて」提案させていただきました。

平成28年度の予算編成にあたりましては、「補助金削減による影響額への即応と、医療の高度化と高齢化に伴い増高する医療費等支出に見合う財源を確保するため、保険料所得割料率並びに均等割りを引き上げ、将来を見据えた健全な財務体質の構築を図ること」として、保険料改正案を作成し、来る2月24日開催の第129回組合会に議案の提出を予定いたしております。

またこのほど、「平成28年度以降の定率補助（予定）」が示され、従前の情報より僅かながら

削減率が縮小されましたが、本組合への補助は今後5年間段階的に削減され、平成32年度には18%となることが事実上確定いたしました。

国からは保険者の自助努力による組合運営が求められる見直しでございます。

今後は組合として、一層の保険者機能の充実をはかり、被保険者の健康維持増進に取り組んでまいらねばならないと考えております。

また、平成27年10月5日マイナンバー法が施行され、マイナンバー（社会保障・税番号制度）の利用が開始されます。

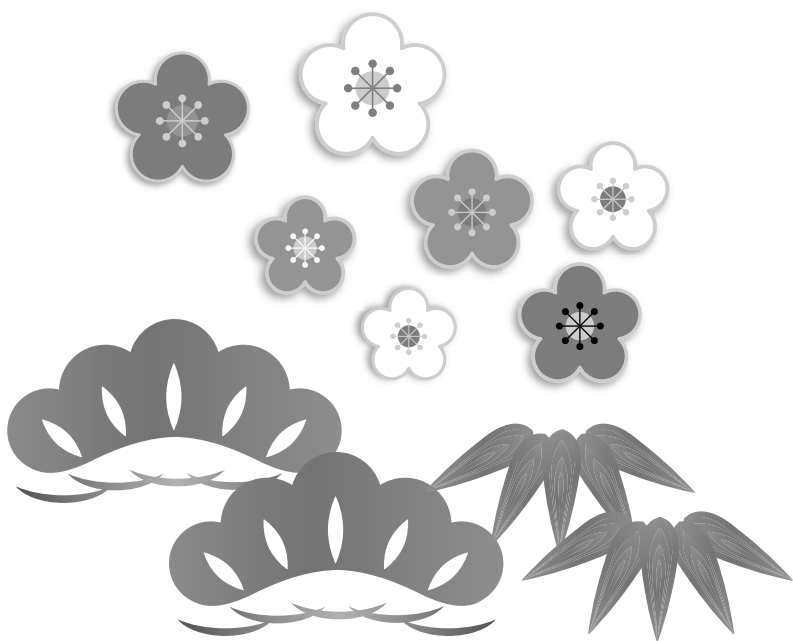
国保組合に対しましては、厚生労働省から将来的なメリットを享受できるよう、番号制度に積極

的に取り組む対応が求められております。

本組合ではリーフレットによる組合員への周知をはじめ、マイナンバーの利用開始に向けた推進体制の確立、様式の改正、特定個人情報保護評価などの準備を進め、必要なシステム化の構築を計画しております。

国保組合を取り巻く情勢は年々厳しさをましておりますが、今後も健全な組合運営に努めてまいりますので、組合員のみなさまには引き続き、ご理解ご協力をお願い申し上げます。

年頭にあたりみなさまのご健康とご多幸をご祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。



理事会報告



第10回理事会

日 時 平成27年12月17日（木）午後4時

場 所 茨城県歯科医師会館 会議室

1. 報 告

- (1) 平成27年度第3回業務会計監査報告
- (2) 一般会務報告
- (4) 後援・協賛依頼について
「認知症市民フォーラムin東海」
- (5) 疾病共済金の支払について
西南地区 1名 21日
鹿行地区 1名 19日
- (6) 12月開業予定の歯科医院について
- (7) 平成27年度「茨城県学校保健会長ほう賞」について
- (8) 茨城県総合リハビリテーションケア学会学術集会について
平成28年度は、茨城県歯科医師会が主幹で行う
- (9) 「国民医療を守るための国民運動」の展開について
- (10) 特定個人情報等の適正な取り扱いに関する基本方針案について
- (11) 外部講師からマイナンバーを取得するための対応業務について
- (12) 警察歯科協議会報告
- (13) 各委員会報告について
学術委員会、厚生委員会、地域保健委員会、学校歯科委員会、社会保険委員会、専門学校

2. 協議事項

- (1) 入会申し込みについて
鹿志村 陽氏（水戸地区）、越川 洋平氏（鹿行地区）の入会を受理した。
- (2) 平成26年度 事業費補助のお願い（女性歯科医会）
標記事業補助について承認した。
- (3) 第4回MITO世界チョコレートフェスティバルへの協賛金のお願い
標記について、一口2万円で協賛することとした。
- (4) 公益社団法人茨城県歯科医師会職員規程案について
標記規定案について承認した。
- (5) 公益社団法人茨城県歯科医師会旅費支給規程の改正案について
標記改正案について承認した。
- (6) 常総市の水害に対する災害見舞金（義捐金）の配分案について
床下浸水、床上浸水に分けて見舞金、及び義捐金を配分することとした。
- (7) 平成28年度委員会事業計画及び事業予算案について
標記事業計画案について承認した。予算案については本会全体の予算と勘案して作成することとした。

(8) 平成28年地区新年会の役員派遣について

日 立：森永先生、黒澤先生

珂 北：征矢先生

水 戸：小鹿先生

東西茨城：黒澤先生

鹿 行：森永先生

土浦石岡：森永先生

県 南：征矢先生

県 西：小林先生

つ く ば：小鹿先生

西 南：森永先生、小林先生、を派遣することについて承認した。

(9) よい歯の学校表彰 選考資料（歯科医師会長賞）について

6年DMFをもとに選考することとして承認した。

(10) 公益社団法人茨城県歯科医師会会員の研究

報告及び発表に関する規程について

標記規定について承認した。

(11) 日本体育協会公認スポーツデンティスト協議会のご案内

標記協議会について、日本歯科医師会に確認して対応することとした。

(12) 茨歯会新年会について

招待者については、執行部に一任することについて承認した。

(13) スタッフセミナーの講師料について

次の開催についても、前回同様とすることについて承認した。

(14) 会員への医療安全講習会講師料について

標記講師料について承認した。

(15) マウスガード協力医の登録について

標記登録について承認した。



株式会社 岩瀬歯科商会

昭和の幕開けと共に栃木県で創業した弊社は、今年で90年目を迎えます。
皆様方への感謝を忘れず、未来を見据えた歯科ディーラー像を創造して参ります。



イワセオリジナルユニット
SIGNO NEXT

■ 製品名 伊勢オリジナルユニット
■ 製造販売 株式会社モリタ東京製作所
■ 販売代理店 株式会社モリタ東京製作所
■ 製造販売 伊勢オリジナルユニット

事業所案内

本 社	台東区台東2-23-7	TEL:03-3832-8241
宇都宮支店	宇都宮市平出工業団地37-6	TEL:028-613-5858
水戸支店	水戸市白梅2-8-18	TEL:029-225-6543
松戸支店	松戸市幸谷観音下159-1	TEL:047-345-3131
千葉支店	千葉市中央区浜野町879-1	TEL:043-305-1182
上野支店	台東区台東2-23-7	TEL:03-3832-8241
古河支店	古河市下山町9-60	TEL:0280-30-1582
福島支店	福島市鎌田字卸町4-1	TEL:024-552-1161
世田谷支店	世田谷区玉川台2-11-17-101	TEL:03-5491-7595
練馬営業所	練馬区豊玉北4-14-11	TEL:03-5912-1180
横浜支店	横浜市栄区小菅ヶ谷1-28-9-101	TEL:045-895-3808
5月GW明け以降	横浜市磯子区中原2-1-19	TEL:045-770-4182
前橋支店	前橋市紅雲町1-22-2	TEL:027-243-8241
5月GW明け以降	高崎市京目町176-2	TEL:027-350-8241
厚木支店	厚木市酒井2087-14	TEL:046-228-5550
大宮支店	さいたま市見沼区東大宮7-41-1	TEL:048-688-1740
盛岡支店	盛岡市上堂1-6-5	TEL:019-648-2777
東大和支店	東大和市立野3-640-1	TEL:042-590-5770

会務日誌

- 12月17日 日本大学松戸歯学部 of 学部長が新任されたことを受けて、表敬訪問を行った。
出席者 森永会長ほか2名
- 12月17日 第3回業務・会計監査を執行。業務（9月1日～11月30日）、会計（平成27年度現況）について監査を実施した。
出席者 鈴木監事ほか7名
- 12月17日 第9回広報委員会を開催。会報12月号の校正、会報1月号の編集、年男・年女原稿掲載について協議を行った。
出席者 菱沼広報部長ほか4名
- 12月17日 第10回理事会を開催。入会申し込み、事業費補助のお願い、第4回MITO世界チョコレートフェスティバルへの協賛金のお願い、茨城県歯科医師会職員規程案、茨城県歯科医師会旅費支給規程の改正案、常総市の水害に対する災害見舞金（義捐金）の配分案、委員会事業計画及び事業予算案、地区新年会の役員派遣、よい歯の学校表彰 選考資料（歯科医師会長賞）、茨城県歯科医師会会員の研究報告及び発表に関する規程、日本体育協会公認スポーツデンティスト協議会、茨歯会新年会、スタッフセミナーの講師料、会員への医療安全講習会講師料、マウスガード協力医の登録について協議を行った。
出席者 森永会長ほか18名
- 12月18日 平成27年度在宅医療・介護連携拠点事業実施者の取組中間報告会が県市町村会館にて開催され、平成27年度在宅医療・介護連携拠点事業の取組中間報告の後、質疑応答が行われた。
出席者 小野寺理事
- 12月20日 口腔ケア講習会（アドバンス・コース）をつくば市の市民ホールつくばねにて開催。「お口でおいしく食べるために」をテーマに、歯科衛生士による実技指導を交えて、加園真樹介護保険委員が講演を行った。
受講者 35名
- 12月24日 保険医療機関に対する個別指導が県市町村会館にて実施された。
対象医療機関数 6
- 12月24日 在宅歯科医療推進協議会小委員会を開催。在宅歯科医療推進協議会について協議を行った。
出席者 森永会長ほか6名
- 12月25日 第3回茨城県・医療審議会保健医療計画部会（茨城県地域医療構想調整会議）が県庁舎にて開催され、各医療圏別地域医療構想調整会議の結果ほかについて協議を行った。
出席者 森永会長
- 12月28日 在宅歯科医療推進協議会小委員会を開催。在宅歯科医療推進協議会について協議を行った。
出席者 森永会長ほか5名
- 1月 7日 平成27年茨城県警察視閲式が茨城県警察学校にて開催された。
出席者 森永会長

- 1月 7日 明日の茨城づくり新春の集いが水戸プラザホテルにて開催された。
出席者 森永会長
- 1月 7日 在宅歯科医療推進協議会小委員会を開催。在宅歯科医療推進協議会について協議を行った。
出席者 森永会長ほか6名
- 1月 8日 新春の幕開けを祝う茨城新聞社主催「千鳥会」が水戸プラザホテルにて開かれた。
出席者 森永会長
- 1月 8日 県医師会の新年賀詞交歓会が水戸プラザホテルにて行われた。
出席者 森永会長ほか1名
- 1月13日 第9回社会保険正副委員長会議を開催。第9回委員会、指導、Q&A、合同協議会、理事会報告、審査内容について
出席者 榊社会保険部長ほか2名
- 1月13日 第9回社会保険委員会を開催。「保険請求のQ&A」、連絡協議会について協議を行った。
出席者 榊社会保険部長ほか19名
- 1月14日 G7茨城テロ対策パートナーシップ会議がつくば市内にて開催され、大臣会合開催に向けたテロ対策について協議が行われた。
出席者 鈴木事務局長
- 1月14日 後期高齢者医療広域連合と歯科健康診査事業について打合せを行った。
出席者 小林常務ほか1名
- 1月14日 8020・6424運動推進部会が県立健康プラザにて開催され、県民歯科保健基礎調査ほかについて協議を行った。
出席者 森永会長ほか2名
- 1月15日 四師会地域包括ケアワーキンググループ第3回会議が県医師会にて開催され、地域包括ケアの構築について（ITの活用による多職種連携を含めて）について協議が行われた。
出席者 黒澤副会長ほか1名
- 1月18日 第3回四師会災害等連携協定ワーキンググループ会議が県医師会にて開催され、第2回JMAT茨城研修会について協議を行った。
出席者 小鹿副会長ほか3名
- 1月18日 平成27年度第2回市町村歯科口腔保健支援研修会が県立健康プラザにて開催され、生活習慣病と口腔保健についての講演などが行われた。
出席者 藤田
- 1月20日 いばらき食育推進大会がひたちなか市文化会館にて開催され、表彰の後、特別講演、展示・販売、パネルディスカッションが行われた。
出席者 藤田
- 1月20日 新規指定保険医療機関に対する個別指導が厚生局茨城事務所にて実施された。
対象医療機関数 4
- 1月20日 都道府県地域保健・産業保健・介護保険理事連絡協議会が日歯会館にて開催され、地域保健対策の進め方ほかについて協議を行った。
出席者 渡辺常務ほか 1名

禁煙支援研修会報告

講演「タバコで家族を亡くすということ」
「喫煙を考える」代表 荻野寿美子氏
説明「茨城県歯科医師会の禁煙の取り組み」
茨城県歯科医師会常務理事 渡辺 進先生

地域保健委員会 石崎 雄司

平成26年12月10日、日立市ホテル天地閣にて禁煙支援研修会が開催されました。ご自身の父親の壮絶な闘病メモ「タバコに奪われた命」の筆者である荻野寿美子氏にお越し頂いて、「タバコで家族を亡くすということ」という演題でご講演頂きました。



2010年2月、朗らかで山が大好きな父親が特発性間質性肺炎と肺気腫を発症し、6年間の闘病生活を経て急性増悪で入院し、約2ヶ月の入院生活ののち気胸を発症してあっという間に帰らぬ人になってしまいました。長年にわたり喫煙を続け、タバコで命を落とすまでの父の姿を、家族は目のあたりにすることとなりました。その父が入院時に書き残した「闘病メモ」と題した日記は、遺さ

れた家族にとってかけがえのない遺品となりました。父の死後1年が経ち、生島壮一郎著「肺が危ない!」という本に出会いました。その時父が残した「闘病メモ」を父の遺品の一つにしておくのではなく、遺された家族の視点を加え作品にして形にしようと考え、「タバコに奪われた命」の刊行に至りました。

講演では、壮絶な闘病メモの経過を思わず目頭が熱くなる程の熱弁で説明していただきました。最後に、家族にタバコをやめさせることのできなかった一人として、医療従事者がタバコをやめる「きっかけ」を作ってくれることに期待していること、そして喫煙者にタバコをやめてもらうことは喫煙者本人を救うためだけではなく、喫煙者の家族をも救っていることにもなるのだということをお伝えしたいと切望されていました。



次に、茨城県歯科医師会 常務理事 渡辺進先生から茨城県歯科医師会の禁煙支援の取り組みについて説明をいただきました。

茨城県歯科医師会では、平成21年度から禁煙支援・相談歯科医院認証制度を設け、平成27年12月末現在で、335の認証歯科医院において、患者に対する禁煙指導を行っています。また、平成24年の茨城県歯科医師会設立100周年に際し、脱タバコ宣言を行いました。次に、脱タバコ宣言文を改めて提

示します。



茨城県歯科医師会「脱タバコ宣言」脱タバコ宣言文

茨城県歯科医師会は、県民の生涯にわたる健康づくりを歯と口腔の健康づくりの面から推進する役割を担っています。その中で、口腔に関連する生活習慣であるタバコ喫煙対策は、重要課題の一つとして位置付けられます。

喫煙とそれに伴う受動喫煙は、悪性腫瘍、呼吸器疾患、脳血管系疾患、消化器系疾患など全身の健康に悪影響を及ぼすことが科学的に明らかになっています。

喫煙は口からの吸入として行われるため、口腔領域に直接的影響を及ぼし、歯周疾患、口腔がん、う蝕、歯の喪失など、その被害は多岐にわたります。さらに、歯周治療、インプラント、抜歯等の術後の治癒経過に大きく影響し、歯科治療を困難にしています。

平成22年11月8日に施行された「茨城県歯と口腔の健康づくり8020・6424推進条例」には、県の基本的施策として『喫煙等による歯周疾患の影響対策に関すること』が明記されており、歯科医師会がタバコ喫煙対策を推進することは重要な責務であり、県民の健康に大きく貢献できるものと考えます。

このような背景のもとに、われわれ茨城県歯科医師会は、県民の口腔及び全身の健康とより良い

歯科治療を確保するため、以下に掲げる行動規範を推奨することにより、「脱タバコ」をスローガンにタバコ対策を積極的に推進することを宣言いたします。

行動規範

タバコ対策を推進する保健医療専門職の模範としての役割を担います。

- ・ 歯科医療施設ならびに会主催行事を禁煙化し、受動喫煙対策を推進します。
- ・ 会で認証する「禁煙支援・相談歯科医院」における助言と支援により、禁煙を推進します。
- ・ 歯科専門職の教育研修プログラムに喫煙対策を含めます。
- ・ 5月31日の世界禁煙デーの活動に積極的に参加します。
- ・ 喫煙対策活動のネットワークに参加します。
- ・ 歯科医師、ならびに歯科医療従事者の早急な「脱タバコ」を推進します。

平成24年12月5日
茨城県歯科医師会

独り言

おそらく講演会の中の聴衆で、喫煙者は私一人だったのではないかと考えています。喫煙者は、タバコの害は十分承知しているものの、なるべく禁煙支援的な事には避ける傾向があります。私も

その一人でしたが、このご講演に出席させていただいたおかげで少しずつではありますが、日々努力しております。会員の喫煙者の皆様、一考してみてはいかがでしょうか！

生活習慣病歯科対策研修会報告

地域保健委員会 久松 雅彦

平成27年12月10日、日立天地閣にて、生活習慣病対策研修会が開催され、「生活習慣病と糖尿病」という演題で、日立総合病院内科主任医長 森川 亮先生に講演していただきました。糖尿病は、我々歯科医にとっては、歯周病との関連はもちろん、これからの医科歯科連携に関わる重要な生活習慣病の1つです。森川先生には、糖尿病の病態から経過、最新の治療に至るまで、専門的見地から、具体的かつ詳細に解説していただきました。



茨城県の糖尿病の現状ですが、治療を受けている糖尿病患者数は約47000人（2010年）です。特に、糖尿病による死亡者数は423人で男性は全国ワースト2位、女性は全国ワースト5位、また、都道府県別肥満度ランキングでも、男女とも全国

6位という結果には驚きました。更に、糖尿病予備軍の割合も、男性17.1パーセント、女性17.6パーセントと、3年間で約4パーセント増加しています。今後、我々の臨床においても、多くの糖尿病患者と接することになるでしょうが、その際、歯科医師として、糖尿病の何を知り、どう対処すればいいのでしょうか。血糖値やHbA1cの数値を見て、基準値を超えていれば糖尿病と思いがちですが、それほど単純なものではありません。臨床で糖尿病と診断されるのは、空腹時の血糖値126mg/dl以上、OGTT 2時間値200mg/dl以上、随時血糖値200mg/dl以上のいずれか、そして、HbA1c6.5パーセント以上の場合です。私のようなアナログ人間は、このような難しい数字ばかりを並べられると、それだけで、思考回路が拒絶反応を起こして、何が何だか分からなくなってしまいますが、簡単にいえば、

1. 血糖値とHbA1cが両方とも高ければ糖尿病
2. 2回以上の検査で、ともに血糖値が高ければ糖尿病
3. 合併症があれば糖尿病

と理解しておけばいいと思います。

よく、検査で、「糖尿病の気がありますよ」と言

われるのは、「まだ、糖尿病ではない（糖尿病の手前）」という意味ではなく、「糖尿病の可能性がある」ということなので、更に、再検査や精密検査をする必要があります。特に、歯科において問題となるのは、糖尿病にともなう合併症です。

糖尿病の主な合併症としてあげられているのは、

1. 糖尿病神経障害
2. 糖尿病網膜症
3. 糖尿病腎症
4. 大血管障害
 - 心筋梗塞
 - 脳梗塞
 - 閉鎖性動脈硬化症
5. 歯周病
6. 認知症
7. 骨粗鬆症

などです。もちろん、この中で、最も歯科治療に関係するのは歯周病であるということは言うまでもありませんが、それ以外の合併症も、歯内療法や外科処置などに大きく影響してきます。

これらの合併症を防ぐためには、

1. 良好な血糖値を維持すること→食事療法や運動療法の開始、それで不十分な場合は薬で治療する。
2. 高血圧、脂質異常症の治療をする。
3. 合併症の検査と治療をする→眼科、歯科に定期的に受診する。

などの対策が考えられます。

特に、食事療法と運動療法は、誰でも、すぐに、実行できる糖尿病対策として知られています。

食事療法は、やたらとカロリー計算ばかりしが

ちですが、日本人が1日に摂取している総カロリー数は、以前と比べて、特に多くなっているわけではありません。しかし、その内容が、だいぶ違ってきているようで、中でも、近年、脂質の摂取量が増えてきていて、これが、糖尿病患者の増加に深くかかわっているようです。

また、運動療法は、出来るだけ習慣的に有酸素運動を取り入れるのがいいようです。健康日本21での糖尿病対策では、日常生活における1日の歩数を増加させることが重要とされ、男性9200歩、女性8300歩を目標に掲げていますが、結果は、男性7243歩、女性6431歩ということで、達成できていません。

また、興味深い統計結果として、国内の自動車販売台数と脂質の摂取量の増加に比例するように、糖尿病の患者数も増加しているというものがありません。外出する時には、無意識のうちに車のエンジンをかけてしまいがちですが、近隣の場合には、出来るだけ歩いて行く、また、食事は、カロリー計算だけではなく、脂質のとり過ぎに注意するなどの対策が有効だとのことでした。

これからも、公私ともに大きな影響を及ぼすであろう糖尿病には、十分注意していきましょう。



日本障害者歯科学会に参加して

(公社) 茨城県歯科医師会 口腔センター土浦

引地 美穂、村居 幸夫

征矢 亘、森永 和男

新年あけましておめでとうございます。厳しい寒さの中にもすがすがしさが感じられ身の引き締まる思いで新しい年がスタートしました。私が4月に口腔センター土浦に勤務してからの毎日は目まぐるしくあっという間に過ぎていったように感じます。障害者歯科に関わるのが初めての私にとって、患者さんにどのように接したらいいのか、どのように指導していったらいいのか戸惑いと反省の日々でした。余裕のない私の行動は純粋で素直な患者さんにも伝わるのか、全く指示が通らない事も多々あり、自分はどうしたらよいのかを少し悩んでいました。



そんな中で11月名古屋国際会議場で行われた日本障害者歯科学会に初めて参加しました。大会テーマは「治療から予防へそして支える歯科治療へ」です。障害のある方が歯科治療を受ける事ができる環境が整いつつあり、また治療後にう蝕、歯周疾患を再発させないための専門的な口腔ケアや、疾患のない早い時期からの歯科医療との関わり的重要性についても社会的な理解が深まっています。

近年は口腔ケアが誤嚥性肺炎や感染症予防に重要であると認識され普及していますが、口腔内の強い過敏や開口することができない、歯磨きを嫌がるなど日常生活介助の中で口腔ケアに関する困りごととはたくさんあり、口腔内の清潔を維持するのは難しく「口腔ケアは大切だ」、けれど「口腔ケアは大変だ」と感じての方が多くいます。そんな不安や負担を少しでも和らげるために、私たちはその方にあった口腔ケアを提供していかなければなりません。

早速帰ってからの診療で清掃能力があるにもかかわらず、なかなか歯ブラシの習慣化が獲得できない患者さんに、歯磨きカレンダーへブラッシング後シールを貼るよう提案してみました。1回目はカレンダーを持っていくどころか1度もシールを貼ってはくれませんでした。2回目シールを貼ったカレンダーを持ってきてくれたのです。気持ちが通じたように思い、とてもうれしくなりました。

困りごとを一つずつ解決していくには時間はかかりますが、その過程の中で患者さんとの信頼関係も生まれてくると思い、私も焦らず接していこうと思いました。

今回の学会参加で改めて口腔ケアの大切さを考えさせられました。これから患者さんの健康をサ

ポートするだけでなく、さっぱりとした気持ちよさを実感してもらうために毎日行う口腔ケアをいかに効率的に行うか、そして口腔ケアが楽しいコミュニケーションの時間となるような情報を提供できるように取り組んでいきたいと思います。

アイ・デー・エスは…

医師賠償責任保険

所得賠償保険

自動車保険

火災保険

小規模企業共済制度

生命保険

…など各種保険の代理店、集金業務を行います。新規加入、増額変更、何なりと御用命下さい。

(アイ・デー・エスは、イバラキ・デンタル・サービスのイニシャルです。)

有限会社 **アイ・デー・エス**

代表取締役 **森 永 和 男**

水戸市見和2丁目292番地 茨歯会館内 TEL:029(254)2826



全学生に禁煙講話開催さる

12月24日（木）、午前10時40分から茨城県歯科医師会館講堂で、歯科衛生士科ならびに歯科技工士科全学生163名を集めて、禁煙講話が開催された。

今回の企画は、茨城県歯科医師会が「禁煙支援・相談歯科医院」を認証し、歯科医院における禁煙支援を推進しているため、将来のデンタルスタッフの一員である学生への正しい知識の普及を目的に、8020・6424情報センターの県民講話の一環として開催したものである。

「タバコが専門学校生の皆さんにどんな影響を及ぼすか」と題し、茨城県歯科医師会理事（地域保健担当）である渡辺進先生にご講演をいただいた。

渡辺先生は、「無煙世代を育てる会」の会員であり、県内各地の小・中・高等学校の他、各方面から多数の講演依頼があり、多忙のなか、積極的に講演活動を行っている。

渡辺先生は、終始熱い思いを込めて、タバコの有害性や禁煙の大切さを訴えていた。



講師の渡辺進先生

タバコは依存性や毒性が高く、自分自身の健康を著しく害するばかりか、周りの大切な人に大き

な影響を及ぼし、家族を不幸にしてしまうこと、そして、タバコを吸う人は吸わない人に医療保険などの金銭的な負担も強いていること、さらに、タバコを売る側の巧妙なイメージ戦略、等々について、スライドを使いながら大変わかりやすく説明いただいた。

学生達は、その説明とともに映し出されるタバコによる健康被害のショッキングな映像を真剣に見つめていた。



受講する歯科衛生士科・歯科技工士科学生

講演終了後のアンケートでは、「タバコの恐ろしさがよくわかった。」、「タバコを吸っている家族や友人に禁煙を勧めたい。」などの感想が多く寄せられた。また、「口を見れば、喫煙者はすぐわかるので、デンタルスタッフとして禁煙指導に取り組んでいきたい」など、医療従事者を目指す立場からの積極的な意見もあった。

これを機に、学生達が、これからもタバコを手にしないうこと、そして喫煙者が一人でも多くその習慣から離れていくことを願って止まない。

【リリー福祉専門学校介護ふくし学科生との 交流実習開催】

リリー保育福祉専門学校介護ふくし学科2年生14名と本校歯科衛生士科3年生45名と歯科技工士科1・2年生20名との交流実習が行われました。

11月27日（金）は、本校歯科衛生士科学生がリリー保育福祉専門学校に赴いて交流実習が開催されました。

アイマスク体験では、自動車の走る音も時折、不安や恐怖を感じる場面があり、介助者側の支え方や気遣い、声かけの大切さを学ぶことができ、また、車椅子体験では、小さな段差や下り坂も正しい操作で行うことで安心して利用できることも再確認できたことと思います。

福祉レクリエーションでは、簡単な体操や歌、手を使わず体だけでタスキリレーを行い、学生は純粋にレクリエーションを楽しんでいる姿が印象的でした。



12月11日（金）午後1時より本校にて開催され、最初にそれぞれの学校、学科の学生代表が挨拶をし、その後各班に分かれて実習を行いました。

歯科衛生士科では、口腔内観察、口腔内診査、PTC、唾液腺・粘膜マッサージ、印象採得・咬合採得、歯科保健指導を実施しました。

また今回、実際に義歯着脱・義歯清掃の体験をしたいと要望があり実習として取り入れました。

歯科保健指導では、質疑応答も活発であり、学生は、とても良い勉強になったことと思います。

印象を採得したものを歯科技工科の学生が石膏注入、トリミングをして石膏歯列模型を作製しました。



最後に、リリー保育福祉専門学校の挨拶では、「実際に体験することで磨き方だけでなく姿勢や患者さんとの距離の取り方、義歯を洗うことの大切さや自身の口腔内に対する関心が深まった」という感想をいただきました。

本校学生は、個々の知識や技術だけでなくコミュニケーションの大切さなど実習するうえでまだまだ課題が残りますが、今回の交流実習が互いの職種の特性や多職種連携を図るうえで貴重な実習になったことと思います。

歯科技工科2年生は、平成28年2月28日（日）、歯科衛生士科3年生は、平成28年3月6日（日）に国家試験が行われます。

両科にとって、これからが正念場です。体調管理を徹底し、クラス一丸となり全員合格を目指して頑張ってもらいたいと思います。

（文責 寺門）

【附属中学校実習】

12月16日（水）茨城大学附属中学校に赴いて、1年生161名を対象に歯科衛生士科3年生による歯科保健指導実習が行われました。

事前に頂いた検診結果をもとに、その人にあった歯科保健指導ができるように、計画準備をしました。1人当たり1名から2名の生徒さんを担当し、染め出し、ブラッシングを行い、口腔内に合った歯科保健指導を個別で行いました。



学生は、歯科保健指導の難しさを感じながらも、自分なりに一生懸命伝えており、また身乗り出しながら熱心に耳を傾けてくれる生徒の姿を、嬉しく感じていた様子でした。中学生からのアンケートからは、「分かりやすかった」、「教えてもらったことを家族にも伝えたい」などの感想を頂き、3年間の実習の総まとめとして、手応えのある実習ができたのではないかと思います。

（文責 鈴木）

電話相談のお知らせ

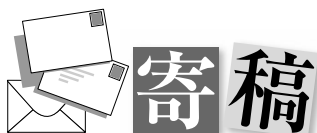
現在、茨城県歯科医師会では会員の方々の様々な疑問、問題に対処できるよう以下の4名の専門家と顧問契約を結んでおります。

顧問弁護士	大和田一雄氏	法律相談全般
	飯島章弘氏	医療事故に関すること
医療アドバイザー	古川 章氏	保険請求や各種届出などに関すること
社会保険労務士	皆川雅彦氏	従業員との労働契約、労務関連など

相談したい事柄がございましたら、お気軽に茨歯会事務局まで電話、またはFAXにてご連絡ください。各先生との相談の日程などの調整、あるいは後日回答できるように致します。ただし、相談は無料ですが、その後は個別対応となります。



茨城県歯科医師会事務局
電話 029-252-2561
FAX 029-253-1075



茨城インプラント研究会（ISI）講演会報告

（社）日立歯科医師会 北見 修一

11月3日に福島県で開業されている松本勝利先生をお迎えして「歯科臨床で大切なコミュニケーションと基礎的臨床技術」という演題でご講演頂きました。

参加者はDr・DH・DT・DA・学生など108名と協賛企業20社が参加しての盛大なものとなりました。

午前の部は、スタッフ向けに患者とのコミュニケーションについてのご講演で、参加者が熱心に聞き入り、メモを取る姿が印象的でした。今回は患者と院内スタッフの信頼関係を高め、治療を円滑に進めるために、ペーパーツールの有効な使い方等、松本先生の貴重なご経験を活かしてDr・



DH・DT・DA間のコミュニケーションや情報の共有の仕方



等、臨床の中での勘所をお話いただきました。

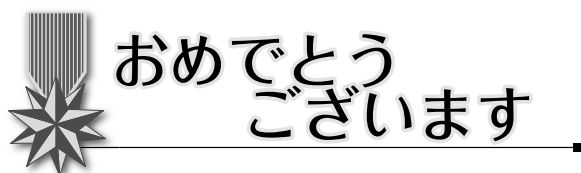
午後の部は、GDS（Global Dental System）にのっとった臨床例をご供覧いただき、システムの手順や考え方を診査・診断から術後の再評価、メインテナンスにいたるまでの確認事項を各ステップごとに事細かく説明していただいた上に、多くの質問等にも快くお答えいただき、盛況のうちに幕を閉じた今回の講演会となりました。

今後茨城インプラント研究会では症例相談会や症例発表会・講演会・企業説明会などを企画し、日常臨床に役立つ研究会でありたいと思っています。



ております。

最後に松本勝利先生、そしてご来場いただいた会員、スタッフの皆様、協賛していただいた企業の皆様に心より御礼申し上げます。



叙勲（瑞宝双光章）

谷田部 博先生（日立市）

先生は、昭和41年4月から48年間、日立市立東小沢小学校、昭和46年4月から43年間、日立市立坂本小学校、昭和56年4月から30年間、茨城県立日立商業高等学校の歯科医として成長期にある児童・生徒の歯科保健を通じて健康管理に尽力されておられます。

これらの功績により27年秋の叙勲に際し瑞宝双光章を授与されました。

心からお祝いを申し上げ、益々のご健勝をお祈り申し上げます。



文部科学大臣表彰

山口 悦郎先生（茨城町）

先生は、昭和53年4月から現在まで茨城県立茨城東高等学校歯科医として、昭和58年から現在まで茨城町立桜丘中学校歯科医（現在は茨城町立青葉中学校）として、平成20年から現在まで茨城町立上野合小学校歯科医（現在は茨城町立青葉小学校）として、37年の長きにわたり、生徒、児童の歯科検診をはじめ、発育期にある子らの健康管理に地道な活動を続けておられます。

これらの功績により12月3日、愛媛県ひめぎんホールで開催された全国学校保健・安全大会の席上、文部科学大臣より表彰されました。

心からお祝いを申し上げ、益々のご健勝をお祈り申し上げます。



日本歯科医師会長表彰

村居 幸夫先生（水戸市）

先生は、昭和50年から歯科医業に従事され、地域住民の健康増進、健康管理に尽力し、また平成13年から現在まで茨歯会理事、常務理事、を歴任され、会の歯科保健事業の推進をはかり、県民の歯科医療の向上に貢献されました。

これらの功績により11月7日、山梨県民文化ホールで開催された全国歯科保健大会において、日本歯科医師会長より表彰されました。

心からお祝いを申し上げ、益々のご健勝をお祈り申し上げます。



明けましておめでとうございます。今年もよろしく願います。

今年もいつもの様に年が明けた。「いつもの様に」が幸せと言うべき事と思うが、皆さんは年末年始を、どう過ごされました？我家の娘二人は社会人なので、もう親と過ごす事無く、当然家内と一緒に過ごす時間が多くなりました。これも幸せ？さておき、この年末年始に、二つの初体験をしました。

一つ目は、初日の出では無いのですが、12月27日に山頂から少しズレてはいましたが、「ダイヤモンド富士」と、湖面に映っている「ダブルダイヤ」も見れて運氣上昇間違いなし。

二つ目は、4日に家内と銀座のデパ地下でしたが、記憶が正しければ結婚以来初めての銀座でのショッピング。家内は健康上の理由で、外に出る事がかなり少なくなっている中での、何十年ぶりの銀座でした。帰りにはスイーツの箱がいっぱいになり楽しい時間が過ごせ、外出の自信が付き良いこと尽くめでした。

我が夫婦の今年の目標は「銀座でのショッピングを楽しむ」となりました。皆さんの目標は如何でしょうか。

今年も皆様にとってより良い年でありますようお祈り申し上げます。 (コスモッコ)

正月休みも終わり仕事が始まった途端、風邪をひきこんでしまいました。仕事始めの前日の夜から咳が出始め、あとはもう大変です。のどが痛い、呼吸がしにくい、のどが痛くて食べられない、とかなりの重症に。仕事中はそれでも気合いで何と

かなるのですが、終わった途端動けない状態に。しゃべれない、煙草も吸えない、スロットにも行けないと、過去の記憶にないくらいの状態でした。

年の初めからあまりにも幸先が悪いので、発想を変えてプラス思考にしてしまうことにしました。煙草が止められるかもしれない、スロットから足を洗えるかもしれない、食べられないから痩せる、さらに咳とそれを我慢するので腹筋が鍛えられ6パックになってしまう。なんてムシのいい話でしょうか。

1月18日現在、身体は楽になってきましたが、いまだに風邪は治っておらず、苦しい日々が続いています。はてさて風邪が完治したころにはどうなっていることでしょうか。皆様もこの時期、身体には十分ご留意ください。 (くすくすくす)

昨年、我が家でひそかにはやっていたこと、それは「ふるさと納税」です。会計士さんに「面白いしお得なので、ぜひやってみて下さい。」と言われたのがきっかけでした。

初めてサイトを閲覧すると、膨大な量のお礼の品々があり、どこから手を付けていいのか分からない状態。ただ漠然と見続けていると時間ばかりが過ぎ、とても見きれない。そこで欲しそうなものではなく、これが欲しいというものに限定して検索すると、けっこう楽しめる。試しに注文したものが届くと、家族もこれが欲しい、あれも欲しいとリクエスト。一年を通して楽しめました。

12月にあといくら位でできそうか計算してもらい、残りをまとめて注文し、今年の正月はいつもより少しだけにぎやかな食生活を送りました。去年は油断していたら品切れになってしまった旬のものがいくつかあり、今年は早めに動く意气込む家族。

結局は税金として支払うもの。好きなものがもらえる分お得です。まだの方はぜひやってみて下さい。 (仁)

みんなの写真館

Photo
Gallery



筑波山神社は筑波山を御神体と仰ぎ、約3千年の歴史を有する古社。

境内は中腹の拝殿より山頂を含む約370haにおよび、山頂へは隣接するケーブルカーで約8分です。

(社)茨城・県西歯科医師会 古橋 仁

会 員 数

平成27年12月31日現在

支 部	会員数(前月比)
日 立	123
珂 北	138
水 戸	159
東西茨城	75
鹿 行	103
土浦石岡	172 +1
つ く ば	120
県 南	174
県 西	153 -1
西 南	107 -1
準 会 員	1
計	1,325 -1

みんなの写真館写真募集！

このページには皆さんからの写真を掲載できます。表紙写真に関連した写真、御自宅の古いアルバムに埋もれた写真などを御送り下さい。

1種会員	1,143名
2種会員	44名
終身会員	137名
準会員	1名
合 計	1,325名



Ibaraki Dental Association

公益社団法人 茨城県歯科医師会

茨 歯 会 報

発行日 平成 28 年 1 月

発 行 茨城県歯科医師会 水戸市見和 2 丁目 292 番地

電 話 029(252)2561~2 FAX 029(253)1075

ホームページ <http://www.ibasikai.or.jp/>

E-mailアドレス id-05-koho@ibasikai.or.jp

発行人 征矢 亘

編集人 菱沼 一弥



この会報には、環境に配慮して植物油インキを使用しております。